

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 20 日

事務事業名		指定工事業者指導管理事務				事業区分		担当		
		政策体系上の位置付け				新規/継続 単独/補助		事務事業No. 050501000117		
総合計画の施策名		0505 下水道の整備				単独		070101		
政策体系	政策名	05 快適な暮らしのまちづくり				主要事業		所属課 下水道課		
	施策名	05 下水道の整備				市長マニフェスト				
	手段名	01 ①下水道の接続と浄化槽の設置				未来PJ事業		グループ 業務G		
						合併建設計画事業				
財務会計上の位置付け						事業期間				
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	公共下水道事業特別会計			
	05	01	01	01	02	00	単年度繰返し (平成17年度~)			
法令根拠	公共下水道総務事業						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<ul style="list-style-type: none"> 桜川市下水道条例に基づき、排水設備主任技術者の資格を有する排水設備工事指定工事店の登録を行う。 排水設備主任技術者の試験、登録、更新の受付を行う。 排水設備の設置申請受付及び確認事務を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定工事店申請、登録手数料 (新規・更新) -受付・内容点検- 指定工事店登録-登録書交付

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
指定工事店申請、登録手数料の受付、交付、指導管理、窓口業務の協会の代行	指定工事店新規登録及び更新件数	件	10.00	62.00	10.00	10.00	10.00
	排水設備主任技術者受験者及び更新者数	人	15.00	9.00	15.00	15.00	15.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
指定工事店	下水道指定工事店	件	136.00	118.00	118.00	120.00	120.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
一定の水準の技術を身に付けてもらう、試験により資格を保有できる。	確認時の指導件数	件	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	32	600	70	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	0	-600	-70	0
	事業費計 (A)	千円	32	0	0	0
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	110.00	80.00	80.00	
	人件費計 (B)	千円	322	234	234	
トータルコスト (A)+(B)		千円	354	234	234	

29年度事業費 実績 (千円)

30年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳						
		合計		0		合計

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容
<ul style="list-style-type: none"> 主要事業 市長マニフェスト 未来PJ事業 合併建設計画事業 			

事務事業名	指定工事業者指導管理事務	事務事業No.	50501000117	所属課	下水道課
-------	--------------	---------	-------------	-----	------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

下水道供用開始当初からで、指定工事店の指定・更新の事務を行っている。
平成17年10月の合併以後は制度として公共下水道の指定工事店になれば、自動的に農業集落排水事業の指定工事店になるようにしている。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

地元業者育成に役立っているとの意見がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

現状維持

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	宅地内配管の適切な敷設及び管理は、生活環境・水質の改善に寄与する点において、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	宅地内配管の敷設・管理を行う事業所を管理・指導するため、必要な事業である。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない	指定業者に対する適切な管理指導を継続する。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	主任技術者が配置されていない、業者による施工が行われ、市の基準を満たさない施工や、無断接続などが発生する心配がある。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	統合の余地はない
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない	登録手数料が事業費を上回っている。登録申請受付等に必要最低限の業務時間で実施している。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	登録された業者の中から、住民が工事を依頼できるため、公平である。
公平性			

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 今後も指定工事店の適切な管理を継続していく。																									
①目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨																									
②有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
③効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
④公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																										
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																									
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○	×	維持				低下				
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上		○	×																							
	維持																										
低下																											
		(6) 事務事業優先度評価結果																									
		成果優先度評価結果																									
		コスト削減優先度評価結果																									

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価	確認欄
<input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	<input type="checkbox"/>